

久慈市議会の取り組みについて

久慈市議会では、住民に開かれた議会をめざして色々な取り組みを行っています。また、最近ではこの取り組みについて、県内外から視察に来る議会が増えています。

1 議会のICT化

議会基本条例に基づき、議会のICTの積極的活用を図るため、全議員のタブレット所有を実現させました。全国的に公費一括購入による方法が主流の中、個人所有によるタブレットの全議員所有を行いました。しかも、無料アプリ「サイボウズライブ」を利用しスケジュールを管理・共有することで、会議招集文書の郵送を一切止め、郵送費用を削減。さらに、タブレットを利用したペーパーレス会議を行い、印刷物の費用等の削減にも取り組んでいます。



2 高校生かだって会議 (H28.8.4 実施)

18歳選挙権を背景に、高校生×ギカイ企画第一弾として「高校生かだって会議」を実施。市内の高校生16人と市議11人を含む約40人が5人ほどのグループに分かれて話し合いました。参加者らは各グループで出された内容を共有しながら「20年後にどんな大人になりたいか」「それを実現するために久慈に必要な『場』『人』『仕組み』は何か、また自分に必要な『経験』は何か」など話し合いを深め、最後に高校生たちが自らの目指す20年後の姿の実現に向けて目標を発表しました。

若年人口の流出が問題となっている中、高校生達に地元で「残りたい」、「いずれは戻りたい」と考えてもらう良い機会となりました。



3 くじ市議会だよりのリニューアル

より多くの住民に読んでもらえるような広報紙を目指し、くじ市議会だよりを大幅にリニューアルしました。平成28年8月1日号からタイトルを「かだってタイムズ」に変更し、対談企画や議員取材記事など内容の一新を行いました。



4 友好交流議会同士のコラボ視察研修

友好交流締結を結ぶ袖ヶ浦市議会と合同で研修会（H28.2月）や行政視察（H28.5月）を実施し、両議会の活性化を図っています。



5 議会のあり方検討会議の設置

久慈市議会では、議員の定数と報酬検討するため、議会のあり方検討会議を設置し、協議・調整を進めています。第1回目（5/25）は、早稲田大学政治経済学術院非常勤講師（早稲田大学マニフェスト研究所事務局長）の中村健氏を講師に招き、ワールドカフェ方式で議論を深めました。



(参考資料:議会活動の報告)

5 「こども議会の開催」(H28.6.8 実施)

侍浜小学校の3年生14名が社会科見学で来庁した際は、見学時間を活用して議場で模擬議会を開催。議長が進行し児童たちが議員になり、「侍浜小学校の3年生は久慈市が好きか？」を議題に、児童が一人ずつ演壇上で意見の発表を行い、最後には起立採決で好きか嫌いかを諮りました。



6 議場・議長室の開放

久慈市議会では休会日を活用し、議場見学や模擬議会などを行っています。

学校行事や地区活動、お友達同士での見学も承りますので、お気軽にお問合せください。

また、模擬議会は議場システムを活用した動画収録(提供)も可能です。



7 ツイッター&フェイスブックによる情報発信(H28.7月~)

これまでの事務局ツイッター発信に加え、事務局フェイスブックを開設。議会関連情報を積極的に発信しています。

ご覧になる場合は、久慈市議会ホームページにあるバナーをクリックしてください。

※フェイスブックをご覧になるには、アカウントの登録が必要です。



インターネットの議会中継をご覧ください！

久慈市議会のホームページ左下にあるバナーをクリックすると議会中継のページに繋がります。

ライブ中継のほか、過去の会議の映像をご覧になれます。是非、ご活用ください。



クリック



【久慈市議会 URL】 <http://www.city.kuji.iwate.jp/gikai/>

【お問い合わせ先】 久慈市議会事務局 0194-52-2188 (直通)

台風 10 号による災害発生後の取り組みについて

去る 8 月 29 日から 31 日にかけて発生しました台風 10 号による被害に対し、久慈市議会では、次のとおり取り組みを行いました。

1 議会災害対策連絡会議の設置

災害発生後の 8 月 31 日、久慈市災害対策本部に協力するため、「久慈市議会災害対策連絡会議」を設置しました。これは、平成 25 年 10 月 7 日に議員全員協議会で策定した「久慈市議会災害時対応マニュアル」に基づいた設置であり、市災対本部からの情報を議員間で共有するだけでなく、議員が個々の活動により得られた地域の被害情報を集約し、市災対本部に情報提供を行いました。



2 総務・教育民生・産業建設委員会連合審査会による所管事務調査の実施

被害の状況把握のため、全議員で構成する総務、教育民生、産業建設の 3 つの常任委員会合同の連合審査会による所管事務調査を実施しました。

9 月 8 日に市街地周辺及び川貫・西の沢地区、大川目地区、長内・小久慈地区を、9 月 15 日には山根地区、山形地区を対象に現地調査を行いました。

調査にあたっては、全議員を 5 つの班に分け、被害のあった地域を手分けして効率的に行いました。

また、現地調査終了後には、各班の調査内容について議員間で情報共有及び協議し、9 月 21 日には、早稲田大学政治経済学術院非常勤講師（早稲田大学マニフェスト研究所事務局長）の中村健先生にご指導いただきながら、台風 10 号被害に係る今後の対応について協議しました。





3 市長に対する緊急要望

現地調査終了後に行った議員間の協議を踏まえ、両日ともに二次災害の恐れのある事項等に関し、即日市長に対し緊急要望を行いました。

■平成 28 年 9 月 8 日 緊急要望内容

- 1、排出量の多い水路等の汚泥の早期撤去
- 2、川端付近にある被災ゴミの早期撤去
- 3、河川流木の早期撤去
- 4、防災行政無線の難聴対応
- 5、小屋畑川河川堤防の開放板の早期補強
- 6、指定避難所の柔軟対応
- 7、長内川（稲村団地）の決壊注視
- 8、大川目町第 34 地割内住宅の裏山の土砂崩れ注視

■平成 28 年 9 月 15 日 緊急要望内容

- 1、情報通信網（テレビ、固定電話）の早期復旧
- 2、各種行政支援制度・手続き、支援物資提供品目の情報提供。
- 3、市道間木平線（女供地区から約 1km 地点）の護岸崩落等による通行止め措置。
- 4、防災行政無線（たもの木地区）の危険電柱の早期復旧。
- 5、林道茅森線の復旧工事の早期着手。

市の災害対応に関する進捗状況については、総務・教育民生・産業建設委員会連合審査会協議会（9/21）や、議員全員協議会（9/28）の場において、市長等から報告・説明を受け、確認しております。

